

自民党 江東区議会議員

にしがき誠

「政治理念」
志を抱き、皮相の動きにとらわれず、断固初心を貫く!



2月21日の区議会本会議で3回目の一般質問に登壇し、以下3点について本区の姿勢を問いました。
質疑応答の詳細を裏面にまとめましたので、ご確認のうえ、忌憚ないご意見をお寄せください。

1. 豊洲地区のまちづくりについて
2. 有明地区の学校教育について
3. がん教育について

<豊洲市場移転問題について>

2月8日の区議会「清掃港湾・臨海部対策特別委員会」で、東京都の職員から1月に実施した9回目の地下水モニタリング調査について報告があり、
・201箇所の測定地点のうち72箇所で有害物質の基準超過があった
・72箇所のうち数値の高かった29箇所について再調査を実施するとの説明を受けました。

本区では有害物質が完全に除去されないと市場の受け入れをしないというスタンスであり、再調査は29箇所のみではなく、基準超過した72箇所で実施すべきという申し入れに「早期に結果を検証したいので数を絞った。72箇所にするつもりはない。」との答弁でした。

また、現在の築地市場も同様の調査をすべきとの申し入れには「移転が前提であり、築地を調査する必要性がない。」との答弁でした。
答弁の内容から、東京都の姿勢に不信感が高まりました。

委員会で私からは「豊洲から他の地域へ引っ越しをした子ども達が、引っ越し先でイジメに遭うかもしれないと危惧している。都知事が一刻も早く豊洲の安全宣言を出すよう最大限の努力を!」と強く要望いたしました。

今後の調査結果の推移も、しっかりとチェックをしていきます。

第11回・第12回 区政報告会
※参加費無料(小さなお子様連れも大歓迎です!)



- ★古石場文化センター 第1研修室(2F)
日時:3月26日(日)10:00~11:30
※9時45分受付開始
- ★豊洲シビックセンター 第1研修室(8F)
日時:3月26日(日)15:00~16:30
※14時45分受付開始

区政レポートや街頭演説ではお伝えしきれないことがたくさんございます。
今回も有意義な情報交換の場となることと確信いたしております。
ご友人の皆様お誘いあわせのうえ、お気軽にお越しください!

現役子育て世代の目線で!

にしがき誠が目指す
3つの政策!

地元商店街の
ますますの
景気向上を!

お年寄りが安心して
過ごせる
環境づくりを!

お年寄りを敬い
子ども達が輝く地域へ!

お問合せ先

皆様のお声をお寄せください!

豊洲西垣

検索

にしがき誠
プロフィール

公式ホームページ◆<http://nishigakim.jp/>
携帯電話◆090-1110-5392
事務所◆江東区豊洲4-9-13-207
発行責任者◆西垣 誠

- ◆昭和47年1月 大分県出身
- ◆平成6年3月 明治大学 商学部卒業
- ◆職歴:平成6年4月 国内金融機関就職~外資系金融機関勤務~江東区議会議員(自民党所属)
- ※所属委員会:【常任委員会】厚生委員会【特別委員会】清掃港湾・臨海部対策特別委員会

【江東区における活動の経歴】◆豊洲北小学校初代PTA会長(6年間)◆深川第五中学校PTA副会長◆江東区青少年対策豊洲地区委員会委員(育成部長)◆区立小学校PTA連合会会長◆保護司候補者検討協議会委員◆青少年問題協議会委員◆生活安全対策協議会委員◆環境審議会委員◆砂村雛子豊洲保存会会長◆豊洲睦会員◆牡丹町公園ラジオ体操会会員◆金剛禅総本山少林寺東京辰巳道院顧問◆保護司 ★平成24年11月3日「江東区政功労者表彰(教育関係功労者)」受章

にしがき誠 一般質問の質疑応答

みんなで考え、みんなで進める
みんなのまちづくり

豊洲地区のまちづくりについて (答弁者:山崎区長)

Q: 都営豊洲四丁目アパートの建替えて未利用となる都有地について問う

地元町会からは、お年寄りがお散歩を楽しんだり、近隣幼稚園や保育園の園児が園庭代わりに使うなど、幅広い世代の住民が利用できる防災機能を兼ね備えた多目的公園の設置要望がある。また、地元商店街からは、イベントが開催できる駅前広場やカフェを併設した緑地公園など、大手資本ではできない、地元住民との共生を目指したまちづくりが要望されている。その他、13号棟跡地には、豊洲のお神輿を常設展示して昔の街並みから現在までの変遷の写真を展示する豊洲歴史資料館、元気高齢者が集える集会所、通所介護施設などの要望がある。豊洲地区は、小学校の収容対策や医療機関などの数も人口増加に追いついておらず、今後さらに高層マンションが建設されることは看過できない。本区として、東京都に対してマンション建設業者に土地が売却されないよう働きかけをすべきと考えるが、いかがか。

A: 区としても高層マンションの建設は学校の収容対策や保育所の待機児童の問題など課題が発生すると懸念する。都に対して高層マンションが建築されないよう説明をしていくと共に、地域のご意見を考慮し、公共公益施設の設置について都と協議をしていく。

東京都の所管部署とも連携を取りながら、地元のご意見が実現するように引き続き取り組んでまいります！



Q: 東電堀の水辺の活用について問う

東電堀は指定管理者が選定されるまでの間、船カフェなど社会実験へ一時的に開放するよう強く要望する。

また、すでに水陸両用バスのスロープとカヌーの棧橋が設置されているが、気軽に乗船できる「アクセスディンギー」が利用できる環境整備を要望する。障害の有無や年齢、能力を問わず風力のみで帆走を楽しめる小型ヨットであり、水辺の活用による観光振興や活性化が期待できる。

専用の棧橋や艇庫に加えて、障害者用クレーンの設置を要望するが、いかがか。

A: 環境配慮型であり、障害者スポーツ振興の観点からも魅力的な提案と考える。費用対効果や利用者ニーズの把握を実施し、夢の島マリナーナなど既存施設の利用状況や関係団体の意見も踏まえて検討する。



アクセスディンギー:「安全第一」のヨット。通常のヨットは風をはらんで傾いた際、転覆しないように上体を船外に出してバランスを取る必要がある。だが、アクセスディンギーは船の下につける板(センターボード)が35キロ前後と、通常の約5倍の重さがあるため安定性が高い。傾きが小さく、船上での体重移動が困難な障害者や高齢者、子どもでも操縦できる。2人が前を向いた状態で横に並んで座る。シートはハンモックのようになっており、長い時間座っても疲れが少ない。

地元住民が手軽に楽しめるアクセスディンギーの採用を、関係団体の皆様と共に取り組んでまいります！

有明地区の学校教育について (答弁者:教育委員会事務局次長)

Q: 小中一貫教育について問う

(仮称)第二有明小中学校は、本区初の小中一貫教育(義務教育学校)を予定している。有明小中学校の連携教育の良い部分を取り入れ、さらに踏み込んだ連携教育が期待できる。今後、一貫教育のメリットを全区展開するにあたっては、有明小中学校のように施設一体型ではなく、現実的には既存校を活用することになるため、施設分離型の検証を早期に進めるべきである。よって、小中連携校である有明小中学校を平成30年度から小中一貫校へ移行すると共に、他の地域においても離れた場所にある小中学校において一貫教育が有意義であるかの検証を早急に進めるべきであると考えるが、いかがか。

A: すべての学校を小中一貫校にすることを指すものではなく、平成30年度以降(仮称)第二有明小中学校の実践を検証しながら、地域や学校の特性を活かしたそれぞれの学校のより良いあり方を探っていく。

施策展開のスピード感に欠ける残念な答弁でした。公立小中学校であり、地域の分け隔てなく検証をすすめるべき。

がん教育について (答弁者:健康部長)

Q: 逆世代教育によるがん検診受診率の向上を

がんは早期発見、早期治療により完治する可能性が高い病気である。近年、様々な工夫を凝らしても本区事業のがん検診受診率は横ばいであり、新たな施策が必要であるとする。そこで、小中学校の授業で保護者向けにがん検診受診を促す手紙や作文を書かせること(逆世代教育)を提案するが、いかがか。

身内のがん患者がいたり、自身が小児がんである可能性もあるが、すでにごがん教育は実施されており、教員のフォローによって該当者には個別に対処可能な範囲と考える。

A: 逆世代教育の効果は期待できると考える。今後、授業で家族への手紙や作文を書くことについて検討する。

一人でも多くの区民が、がんの早期発見・早期治療により、がんの克服(完治)が実現することを期待いたします！



施設分離型小中一貫校

施設一体型小中一貫校

